



復興への願いが込められた雪だるまのつどいむ会場

復興願い雪だるま

むかわの小学生 会場で製作

70th さっぽろ雪まつり

さっぽろ雪まつりが開かれている札幌市東区のとつどいむ会場で2日、昨年の胆振東部地震で被害が出た胆振管内むかわ町の小学生と保護者ら62人が、復興への願いを込めて、雪だるま作りに取り組んだ。

札幌市などの雪まつり実行委が、観光庁の「元気です北海道」プロジェクトの一環として招待した。子供たちは「スマイル雪だるま広場」で、雪だるまを1体ずつ製作した。ペットボトルのキャップなどで表情を作り、メッセージカ

ードを首から下げて完成。広場に設けられたステーションに、62個の小さな雪だるまが並んだ。

鷗川中央小6年の松並拓夢君(12)は、つどいむ会場を初めて訪問。昨年9月6日の地震では、就寝中に大きな揺れに見舞われて飛び起き、恐怖を感じたという。自宅に大きな被害は出なかった。カードには「元気に生活しています。これからもがんばっていきます」と決意を記し、「雪まつりに来られてうれしい」と笑顔を見せた。

実行委は3日は同管内安平町、9日は厚真町から、合計約200人を招待する予定。(渡辺愛梨)

しばれた陸別



【陸別】「日本一寒いまち」として知られる十勝管内陸別町で2日夜、第38回しばれフェスティバル(実行委主催)が開幕した。恒例の「しばれ花火」(町、北海道新聞帯広支社主催)では約1500発が打ち上げられ、厳寒の冬の夜空を彩った。

開会式では、坂東辰哉実行委員長が「暖冬で準備が進まなかったが、みんなで頑張ってきたとあいさつ。その後、高さ約6mの巨大かがり火「命の火」が点火された。十勝などが舞台のNHK連続テレビ小説「なつぞら」(4月から放送予定)に出演する俳優、清原

翔さんも舞台に立ち、番組をPRした。氷のかまくらで一夜を過ごす名物イベント「人間耐寒テスト」には道内外から261人が参加。会場は氷点下10度を下回る寒さで、防寒着を重ね着した参加者は厳寒の夜を楽しんだ。フェスは3日も行われる。(広川春男)

マッスルスーツを着着して除雪する雪はねボランティアアターの参加者



マッスルスーツ 除雪の動作楽に

上富良野で装着体験

【上富良野】腰の負担を和らげる介護ロボット「マッスルスーツ」を使って除雪をする試みが2日、上川管内上富良野町で行われた。

一般財団法人北海道介護ロボット推進協議会(札幌)の秋生田知香志代表理事らが札幌発着の雪はねボランティアアター

(ボランティア活動による広域交流イノベーション推進研究会主催)に参加。高齢者が多く暮らす上富良野町の公営住宅で、秋生田氏自らや参加者が装着して除雪した。

マッスルスーツは人工筋肉をリュックのように背負い、両太ももにパットを装着する。重さは約4kg。空気圧で伸縮する人工筋肉が体の屈伸を助け、腰の負担を軽くする。要介護者を抱えて起こしたりする時、介護者が装着して使う。

ゼミ生7人と参加した北星学園大の鈴木克典教授は「中腰の姿勢から背を伸ばして雪をはねる時に楽」と話し、秋生田代表理事は「除雪で使うのは初めて。お年寄りが除雪時に使ってもいい」と語った。(佐々木学)

長崎新聞社長が報酬返上

長崎新聞社(長崎市)は2日、徳永英彦社長(59)が部下の女性らに性的な言動をした問題を受けて臨時取締役会を開き、徳永氏の役員報酬3カ月分の自主返上や、ハラスメント防止策強化などの方針を了承した。

徳永氏は昨年11月の懇親会で酒をつぎに来た女性社員とその上司の男性に「愛人やろ」と述べるなど性的関係を指摘するかなのような言動をした。徳永氏は「品位を欠いた言動で多大の迷惑をお掛けしたことを改めておわびします。ハラスメント防止策の先頭に立ち、社員とともに推進します」とのコメントを出した。

徳永氏は1983年入社。報道本部長、販売



で、昨年12月に現役を引退した元幕内貴ノ岩関のアデイヤ・バーサンドルジ氏(28)＝モンゴル出身＝の断髪式が2日、東京都墨田区の西国技館で行われ、約370人が出席した。元貴ノ岩関は一昨年の元横綱日馬富士関による傷害事件では被害者だった。

断髪式には元日馬富士関が出席し、はさみを入れた。既に和解したそうで「前向きに、真つすぐに進むしかない。こういうことになっ

いと神妙な面影の前師匠の元貴ノ岩関は涙を見せながらも「最後。いろいろもらった。前きたい。精進したい。人生を白鵬関、鶴竜もはさみを入